

H29. 1. 1発行
VOL. 20

地域包括 かこがわ便り



新年明けましておめでとうございます
本年も宜しくお願い申し上げます

認知症なんでも相談会

11月6日午前、加古川市民会館に於いて、認知症なんでも相談会を開催しました。

事前に相談予約された市民に対し、行政や地域包括の職員の他、医師・薬剤師・精神保健福祉士・司法書士などの専門職にも対応して頂き、困難な課題に対して多面的な視点で助言を行うことが出来ました。

また、午後からは歌手の橋幸夫さんの講演会があり、実母の事例を通してユーモアあふれるお話があり、客席一同感銘を受けました。年に一度の開催ですが、多職種が相談対応できる貴重な機会ですので、もっと多くの方に周知して相談いただけたらと考えています。



市民公開講座「輝いて生きる」



11月19日、加古川市民会館 小ホールで、緩和ケアの啓発を行い、今回は多職種協働により演劇という手法でご紹介させて頂きました。

舞台監督以外は、日頃は保健・医療・福祉などに従事している素人の集団でしたが、役者以下、裏方まで皆で力を合わせて大きな舞台を演じ切りました。

三途の川で出会った3人の肺がん患者の物語ですが、緩和ケアを知らずに三途の川まで来てしまった1人が、閻魔大王の計らいによって3か月前に戻り、最期をやり直す・・・といった主旨の劇です。公演の様子は、DVDに収められており、希望者には視聴ができるそうです。

少しでも緩和ケアについて、ご理解の促進ができればと思っております。



多職種連携研修会



11月30日、JAビルで加古川町内多職種連携研修会を開催しました。

今回は、生活福祉課の方を3名お招きし、「生活保護制度について」ご講演頂きました。

各グループの発表では、「生活保護の利用者に関わる事が少ない」「時間がかかったが、上手く連携が取れた」等の意見もありましたが、今後増加が予測されるだけに各機関と連携を

図っていく事の必要性を共有出来たのではないかと感じました。月末のお忙しい時期に43名の方に参加して頂き、ありがとうございました。これからも地域の実情に沿った研修を企画していきますので、宜しくお願いします。



認知症サポーター養成講座 活動報告



28/10/19 (水)	本町 2 丁目町内会	9 名
28/10/27 (木)	鳩里小学校 5 年生	193 名
28/11/12 (土)	平野町内会	23 名

認知症について正しく理解し、認知症の人と家族をサポートする「認知症サポーター」養成講座を、この秋には3回、合計225名の方に受講していただきました。

認知症は誰もがなりうる病気であることを認識していただいたうえで、認知症の病気についての知識と、上手な対応の方法について講義や寸劇を交え、地域でできることなどについて話し合いました。

町内会では地域の見守りについて話が拡がり、小学校では、具体的な対応の仕方についての話などが発表されました。特に小学生の子供たちは、認知症は「おかしくなるのではない」と理解し、またオレンジリングに感謝している様子を見て、子供のころからの正しい教育が大切であるとつくづく感じました。

♪介護者のつどい リフレッシュバス旅行♪

10月12日、毎年恒例の「介護ほっとカフェ」のリフレッシュバス旅行を実施しました。

今年は、メディアにも取り上げられている西宮市にある「つどい場さくらちゃん」。理事長の丸尾様の手づくりの美味しい昼食をいただきながら、介護している人、介護を受けている人、福祉関係の仕事をしている人など様々な方が集まり、困ったことを相談したり、情報交換したりする場として「つどい場」がとても重要であるというお話を聞かせていただきました。その他にも「**介護者は賢くならんといかん**」などと、丸尾様からためになるお話がたくさんあり、楽しい時間を過ごさせていただきました。



ボランティアメッセ



11月6日、ボランティアメッセに参加させて頂きました。当センターの看護師も血圧測定、健康相談、脳の健康チェックを実施し、110名の方に参加していただきました。「**最近運動してないから体脂肪が・・・**」「**食事は何に気をつけたらよいのか?**」など日常生活に即した質問もあり、健康に対する関心の高さを感じました。今後も「**介護予防は自助から**」というコンセプトで、啓発していきたいと思えます。

サロン代表者研修会

12月12日、加古川市民会館において、「**超高齢化社会における通いの場のあり方について～みんなで気づき、励まし、育む～**」をテーマに地域サロン代表者研修会を開催致し、298名の方に参加していただきました。

妙正寺住職 鹿多証道氏の「歌に聞く」のご講演では、身近にある歌の中に込められた命の支え合いや寄り添う心の大切さをやわらかい語りでもた軽快にお話しされていましたが、涙あり、笑いありの心温まる会場の雰囲気となりました。

改めて通いの場について考える良い機会になっていただけたのではないのでしょうか。

